



学校だより



<http://www.kobe-c.ed.jp/hhr-es/>

4月号

「みんな 大好き」平野っ子

入学・進級、おめでとうございます。のどかな春の陽光を受け、校内の色とりどりの花が、子どもたちの入学や進級を祝っているようです。

新たに1年生40名を迎え、全校生255名、12学級で平野小学校の教育活動がスタートしました。4月は出会いの季節、入学・進級の喜びに胸ふるわせて登校してくる子供たちを迎える新学期になると、子供たちと「よき出逢い」をと、その責任感に身も心もひきしまる思いでいっぱいになります。しかも、一日一日が、平野小学校で過ごす最後の日となる今年度は、その思いにはさらに強いものがあります。子供たちの心に、平野小学校での思い出を残していきたいと思います。

そこで、100周年・閉校という節目の年の今年度、「みんな 大好き」を合言葉にしたいと思います。神戸の教育理念に「人は人によって人になる」があります。友達、保護者、地域の方々とふれあう中で、自分はもちろんのこと、友達、家族、地域の方、平野の街など、自分とかかわりのある「人」「もの」「こと」を一つでも多く好きだと思える心を育てていきたいと思います。そのために、学校だけでなく平野の街のどこでも、いつでも、誰とでも「あいさつ」ができる子供であってほしいと願っています。

「あいさつ」は、心と心をつなぐものです。平野の交差点に立っているとき、地域の方と「おはようございます」とあいさつをかかわすと、明るい気持ちになります。きっと、子供たちも同じだと思うのです。出会ったときに、保護者・地域の皆様とかかわす「おはようございます」「いってらっしゃい・いってきます」「おかえりなさい・ただいま」などの一言は、子供たちに、あいさつの心地よさや人とのつながりを感じさせてくれるものと思います。あいさつによって、子供たちが、保護者や地域の方々とよりつながってくれることを願ってやみません。

新しい教室、新しい友達、新しい先生との出逢い……。草木がみな芽吹き、花開く4月、すべての子供が「よき出逢い」をし、可能性の芽を出し、個性という花を咲かせてほしいと願っています。そして、「地域の宝」である子供たちが一人でも多くの保護者や地域の方々とふれあい、歴史ある平野の地域のすばらしさを実感できるように、「地域を・地域で・地域に」学ぶ学習に引き続き取り組んでいきます。歴史ある平野小学校の最後となる今年度、私たち教職員一同、子供とともに過ごす「今」という時を大切にしていきたいと思います。昨年同様、ご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

校長 小川 信子